

講義名	教養特講 (心理社会学科へのいざない)			授業形態	
担当教員	佐藤 彰官 / 栗田 真樹 / 桑原 桃音 / 辻本 乃理子 / 銅直 優子 / 西尾 範博 / 福田 哲也	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

心理社会学科は、人、もの、お金などに関わるさまざまな問題を解決するために、人間の心理と社会を多角的にとらえる視点を持つことである。そのためには、現代社会の構造や、人々の心の動きや仕組みがどの様になっているのかについて理解を深め、人々の暮らしを豊かにする方法を探ることが重要である。これらを専門的に学ぶために必要な、人間の心理と社会を理解する基礎的な知識や学びが、この授業のねらいである。

この授業では、社会を理解するために、共同体、家族、仕事、生活、消費、働き方などについて解説する。また、人間の心理を理解するために、パーソナリティの構造、対人関係、対人魅力、対人コミュニケーション、主観的幸福感、消費行動などに関する知識と理論を社会学・心理学・その他関連領域の観点から解説する。

到達目標

社会学や心理学がどのような学問であるかが理解できる。
現代社会の問題を社会学・心理学・その他関連領域の観点から理解することができる。

提出課題

複数の教員によって担当される科目であるため、担当教員によって提出課題の方法が異なる。各担当教員の説明をしっかりと聞き、指示に従うこと。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各教員が授業内で講評・解説する。

評価の基準

担当教員ごとに課題・試験が行われ評価点を与える。その評価点の合計と最終回の試験の合計が最終評価点となる。課題・試験の方法や評価の方法に関する詳細は、授業内で各教員から説明が行われる。

履修にあたっての注意・助言他

毎回授業に参加すること。しっかりとノートを作成し、資料が配付された場合は、その都度、整理し保管すること。また毎回の授業に持ってこられることを忘れないようにする。特に本科目は担当教員が7名いるため、担当教員ごとにノートや資料をしっかりと整理すること。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.社会心理学概論。	北村英哉・内田由紀子（編）	ナカニシヤ出版	3500	9784779510595
.大学生のための社会学入門。	藤原清夫・栗田真樹（編著）	晃洋書房	2420	9784771027176

その他

授業では必要に応じて資料を配付する

授業計画

- 心理社会と心理学 (福田)・授業の進め方(Campus-Xsの使い方など)、社会学と心理学の特徴・考え方
予習：シラバスを読み、授業の概要を理解しておくこと(60分)、Campus-Xsの使用マニュアルを熟読し、使用方法を事前に確認すること(60分)
復習：授業資料やノートを確認し、授業の進め方を理解しておくこと(120分)
- 心理社会と心理学 (福田)・進化心理学：進化とは、血縁淘汰、互惠的利他
予習：副題のキーワードを事前に調べておくこと(90分)
復習：授業資料を確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと(60分)・授業で扱った内容が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと(90分)
- 心理社会と心理学 (福田)・ポジティブ心理学：ポジティブ心理学の考え方、Well-being
予習：副題のキーワードを事前に調べておくこと(90分)
復習：授業資料を確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと(60分)・授業で扱った内容が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと(90分)
- 心理社会と心理学 (西原)・アサーティブ・コミュニケーション
予習：「アサーティブ」および「アサーティブ・コミュニケーション」とは何かについて事前に調べ、簡単に説明ができるようにしておくこと(120分)
復習：配布資料を使って授業内容を復習し、授業中に提示された課題に取り組むとともに、学んだことを日常生活で試してみること(120分)
- 心理社会と心理学 (西原)・分ちあい・共有のコミュニケーション(アクティブ・リスニング)
予習：「分ちあい・共有のコミュニケーション」「アクティブ・リスニング」とは何かについて事前に調べ、簡単に説明ができるようにしておくこと(120分)
復習：配布資料を使って授業内容を復習し、授業中に提示された課題に取り組むとともに、学んだことを日常生活で試してみること(120分)
- 心理社会と心理学 (銅直)・パーソナリティの心理学
予習：キャンパスクロスに事前掲載されている「キーワード」について事前に調べておく(100分)
復習：授業資料と自分で資料に書き込んだノートを見直し、授業時に指示のあった箇所について理論と具体的事例をそれぞれ説明できるようにする(140分)
- 心理社会と心理学 (銅直)・対人魅力
予習：キャンパスクロスに事前掲載されている「キーワード」について事前に調べておく(100分)
復習：授業資料と自分で資料に書き込んだノートを見直し、授業時に指示のあった箇所について理論と具体的事例をそれぞれ説明できるようにする(140分)
- 心理社会と社会学 (辻本)・生活者の視点から生活を科学的に考える、生活環境学の考え方
予習：副題のキーワードを事前に調べておくこと(90分)
復習：授業資料を確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと(60分)・授業で扱った内容が、自身の日常生活においてなぜそうしているのか、どのように生かされているのかを考え、説明できるようにしておくこと(90分)
- 心理社会と社会学 (佐藤)・「社会」の読み解き方・社会学・社会調査とは何か
予習：副題のキーワードについて参考図書などを用いて事前に調べておく(90分)
復習：授業資料や参考図書をもとに、概念や理論について説明できるようにし(60分)、身の回りの具体例を考え、関連付けながら授業課題に取り組む(90分)
- 心理社会と社会学 (佐藤)・メディアと社会の関係：メディア論の視点
予習：副題のキーワードについて参考図書などを用いて事前に調べておく(90分)
復習：授業資料や参考図書をもとに、概念や理論について説明できるようにし(60分)、身の回りの具体例を考え、関連付けながら授業課題に取り組む(90分)
- 心理社会と社会学 (桑原)・家族を社会的に考える
予習：事前に配布された講義資料を見つうえ、わからない言葉について事前に調べておく(120分)
復習：出題された課題を解き、講義資料を見つうえで講義ノートを整理し、考えたことをまとめる(120分)。
- 心理社会と社会学 (桑原)・社会問題とジェンダー・デートDV、性と生殖の権利
予習：事前に配布された講義資料を見つうえ、わからない言葉について事前に調べておく(120分)
復習：出題された課題を解き、講義資料を見つうえで講義ノートを整理し、考えたことをまとめる(120分)。
- 心理社会と社会学 (栗田)・現代社会と高等教育(1)(社会における大学、社会階層と社会移動、「ガクチャ」)
予習：事前配布のプリントを予習し、疑問点を記録しておくこと(120分)
復習：授業内容を復習し、重要点を要約し、さらなる疑問点を記録しておくこと(120分)
- 心理社会と社会学 (栗田)・現代社会と高等教育(2)(大学卒業後のキャリア、ライフコース)
予習：事前配布のプリントを予習し、疑問点を記録しておくこと(120分)
復習：授業内容を復習し、重要点を要約し、さらなる疑問点を記録しておくこと(120分)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

教養特講のカリキュラムポリシー「教養特講科目は、生涯を通じて学ぶにあたっての基礎を築き、社会経済環境の変化に応じた教養を養う科目群で、専門分野・領域にとらわれず時機に応じて開講します」
本授業の到達目標、の達成は、学生が社会学や心理学の特徴や考え方を理解する事であるため、生涯を通じて学びの基礎を獲得することにつながる。また到達目標の達成は、社会経済環境の変化を感じ取り、それらを解決し、現在社会に適応するための教養を獲得することにつながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS(学習支援システム)であるCampus-Xs(出席・課題等のコミュニケーション)を利用できるようにしておくこと。教員によっては別のアプリ・システムを使用する場合がありますが、詳細は授業内で案内します。
あわせて学内アドレス、パスワードを確認しておくこと。

実務経験の有無及び活用

備考